



高山西ロータリークラブ

例会報告

第 2630 地区 岐阜県 濃飛分区 創立 1966 年 1 月 15 日

- 例会日 毎週金曜日 12:30~13:30
- 例会場 高山市花里町 3-33-3 TEL 34-3988
- 大垣共立銀行 高山支店 4 F
- 会長 折茂 謙一
- 幹事 米澤 久二
- 会報委員長 脇本 敏雄



「2013 新年の夜明け」 蜘蛛 康介

＜会長の時間＞

今回は、前回までの運動の効果の締め括りとして、大東流合気柔術を極めた佐川幸義の生涯についてお話しします。90 歳を過ぎた小さな老人が空手や剣道や柔道などの高段者たちを一瞬のうちに何メートルも吹き飛ばしてしまう、魔法のような武道を極めた一人の男の生涯を描いた書籍を 3 冊紹介します。



まず『孤壘の名人』著者 津本陽、文芸春秋社 2008 年 3 月 30 日出版。先生は 85 歳とは思えない、精気のみなぎる容貌、身ごなしであった。極めて穏やかな口調で話してくださった。本村氏と高橋氏が、大きく開いた先生の稽古着の襟を左右から掴んだとたん、二人の体が宙に舞った。叩きつけられるときの物音は大変なものである。一部の他流の人が実践で弱いのは、普段体を痛めつけ鍛えていないからだ。技を使うから、体を鍛える必要がないと思うのは素人である。先生は体の鍛錬を 24 通り、毎日行っているということである。先生は非常に高齢でありながら頭脳明晰であるのは、この鍛錬のお蔭だということである。人間にとって年を動かすことの本当の重要性は、まだほとんどの人が気づいていない大切なことであるという。頭脳も体の一部で体全体が弱ると頭脳も弱ってしまうのだと先生は考えている。

次は『合気習得への道』著者 本村達雄、合気ニュース。2005 年 11 月 9 日出版。本村氏は東大を卒業した数学者で筑波大学の教授です。合気道 5 段、剣道 3 段です。外国に留学した時、力の強い外人が力を入れて頑張ると全然倒すことができず、悔しい思いをします。帰国後いろいろの道場を訪ねましたが、どの先生の技を受けてみても、とてもこれでは大きな外人に本気で頑張られたら通用するはずがないというものばかりでした。武田惣角の直弟子である佐川幸義に出会います。当時 76 歳の佐川氏から、上から手を押してみなさいと言われ、思いっきり両手で押さえたら、その瞬間に先生は両手を上げて椅子から立ち上がって、そのままガラス戸まで一気に攻められ、逃げることもどうすることもできません。その後、セーターをつかんでみると言われて先生が少し動くとコロんと倒されて天井が見える。絶対倒れないように踏ん張っても先生が少し動くとコロんと倒されてしまいます。どんなに頑張ってもコロコロ投げ飛ばされてしまいます。弟子になり佐川氏が 95 歳で亡くなるまでつかえた人です。また数学に関しては、数学というのは考え続けて考え続けてやっても、それでも

きるかどうかわからない。自分の命を削ってやるものだ、というくらい数学の世界に浸っていた人です。一人で稽古に行っていたころは、帰りに数学の問題が良く解けました。4 年間くらい解けなかった問題が、先生に投げられた後解けたこともありました。非常に脳が活性化した感じなのです。僕は先生に毎日四股を 1000 回踏めと言われてやっています。それを続けると体に不思議な能力が目覚めてくると本村氏は言う。足腰が丈夫になるだけでなく、自分の内部に眠っていた、今までに感じたことのない意識が起き上がってくるのだという。

この本はこれくらいにして、最後に『透明な力』著者 木村達雄、文藝春秋 2008 年 7 月 10 日出版。序文に「大東流合気柔術師範である佐川幸義先生は、何十年と鍛えた我々弟子たちを何人でも一緒に本気でかからせ、しかも一瞬のうちに吹き飛ばしてしまう。佐川先生は現在 92 歳を超えていらっしゃるのですが、その技の切れ、威力は衰えることを知らずまさに驚異的です。これは合気と言われる敵の力を抜いてしまう体の内部技術によって可能になります。相手の状態をすっかり駄目にしてしまう瞬間の技術で、この後は相手が抵抗力をすっかり失ってしまうので、『透明な力』で自由に技をかけるというものであり、従来の武術とは全く発想が異なるのです」とあります。佐川先生の基本的な考え方の一つに絶えざる向上心がある。たとえ八方塞がりになり絶望的な状態になっても、考え続けているとやがて道が開けてくるものだ。体の鍛錬を何十年と毎日続けなければならない。70 歳まではやれば筋肉もついてくる。それまでに体を作ってしまうと 80 歳過ぎても全然衰えないのだ。何としてもやり通すという気力が大切だ。精神力が大事だ。結局は己に勝つということだ。

＜幹事報告＞

◎ガバナーエレクトより

- ・国際協議会より次年度 R I テーマ決定のご報告
- 2013-2014 年度 国際ロータリーのテーマ 「ENAGE ROTARY CHANGE LIVES」
- ロータリーを实践しみんなに豊かな人生を



＜受贈誌＞

- ロータリー米山記念奨学会(ハイライトよねやま 154)、高山 RC(会報)、美濃加茂 RC(会報)

奉仕を通じて平和を

例会報告

<出席報告>

区分	出席	Make-Up	出席者数	会員数	出席率
前々回	39名	11名	50名	51名	98.04%
本日	40名	—	40名	51名	78.43%

<本日のプログラム>クラブアッセンブリー クラブ奉仕委員長

田中 武

委員長に田中 武 副委員長に阪下六代さん 委員さんには、堀川和士さん、門前庄次郎さん、小林勝一さん、河渡正暁さん、脇本敏雄さん、洞口良一さんです。



基本方針：関連各委員会の活動をスムーズに行うため連携を深める。これには各委員長の各委員会の活動内容を良く確認しあい連携をとりあいスムーズに行うこと。

計画：関連委員会の委員長会議（第1回目は7月20日に行いました。第2回目は来月2月を予定いたしております）予算は50,000円を見えています。ゲストスピーチですが、2月15日を予定いたしております、会員の田近さんに何か面白いスピーチをされる方はどこかに etc お願いし相談をしているところで御座います宜しくお願い致します、予算は10,000円です。後、半年間程ですが宜しくお願い致します。

親睦活動委員長

門前 庄次郎

会員や家族間の親睦と交流を深める事を目的として活動しております。また、皆さんに楽しんで頂くためには、自らが楽しく



ないといけないとの思いがありますので、親睦委員会自体が楽しみながらやって行く事を、大切に思っています。

上期には8月10日に「ゆかた例会」を行いました。この時は、会員だけの手作りの親睦会と言う事で、飛騨総社をお借りし、食べ物やお酒も持ち込み、余興のゲームなども、親睦委員会全員で考え準備しました。ゲームは沢山準備しておりましたが、時間の都合で一部しか出来なくて残念でしたが、皆さんに楽しんで頂けたのではと思っています。

また、1月5日には『新年家族例会』を行いました。新年最初の例会なので、この一年が元気の出る一年になる様に、そんな思いを込めてやらせて頂きました。

最初、舟山太鼓の皆さんに、腹の底から力が出るような演奏して頂き、その後親睦委員が和太鼓の曲に乗せたオリジナルの踊りを披露させて頂きました。12月にのべ10回程度集まって練習をしました。なかなか練習に皆が揃う事が難しく、「本番はうまくいくのかな。」との心配もあり、踊りの先生2人にも入って頂きましたが、いざ蓋を開けてみますと、皆うまくて、何より

本番は緊張したけど、楽しかったと言ってもらえたのは良かったです。

皆さんにも、楽しい新年会であれば良かったと思っています。

下期には5月中旬に新緑例会を予定しております。詳細はこれからですが、皆さんに楽しんで頂ける様な会を企画したいと思っていますのでよろしくお願いします。

環境保全委員長

遠藤 隆浩

会員の皆様に地元の自然に触れていただくという事を委員会の目的と



しています。今年は晩秋に原山自然公園の散策を予定していましたがあいにく雪が降ってしまい中止とさせて頂きました。代わりに春に何か企画したいと思っておりますのでご参加よろしくおねがいします。

担当例会には、原山散策のガイドをお願いしていた小野木先生の大変面白い講話を聴かせていただき好評でした。引き続き御協力よろしくお願いします。

青少年育成委員長

道脇 清春

こんにちは、青少年育成委員会です。副委員長に挟土さん、委員に河渡さん、向井さん、長瀬さんの5名で進めてまいります。



基本方針に則り、上半期を終えさせて頂きました。

9月は高山あすなろ会・小中学校木工コンクールに協賛。又、同月、ゲストスピーチに『飛騨子ども相談センター』の中切所長を招いて（青少年の社会的ひきこもり支援事業）についてご講話を頂きました。2月には高山スポーツ少年団に協賛します。今後の行事として、3月に義務教育9ヵ年皆出席表彰の準備を進め、5月にはもう一度ゲストスピーチを予定しています。

インターアクト委員長

蜘蛛 康介

インターアクト委員長の蜘蛛です。副委員長には垣内さん、委員は門前さん、東さん、大村さんの計5人で進めています。



上半期の報告ですが、七月の高山 RC 高山西 RC 合同懇親会を行い、八月には鈴鹿市にて IA 年次大会に参加しました。十月には、文化会館で IA 飛騨地区協議会を催し、ほとんどの事業計画を消化しています。

下期には、五月予定の IAC 顧問教師部会を残すのみとなりましたが、委員長として下期に向っても精一杯のことが出来ればと思っていますので、今後ともよろしくお願い致します。

奉仕を通じて平和を

例会報告

国際奉仕委員長

鴻野 幸泰

委員長 鴻野幸泰、副委員長 鍋島勝雄さん、委員は下屋勝比古さん、向川原毅彦さんです。



基本方針は「国際間の理解と親善」をスローガンに国際交流に努める。また青少年交換学生の選任。今年度は14年ぶりに交換留学生の受け入れを行う事になり、昨年の11月12日には、受入に関する研修会を行いました。カウンセラーには伊藤松寿さん、ホストファミリーには阪下さん、内田さん、折茂さん、下屋さん、塚本さん、そして私鴻野で務めさせていただきます。12月の担当例会では、高山高校の荒川先生と、前回のホストファミリーである挟土さん、平さんにスピーチをしていただきました。現在、交換留学生のオーストラリアから来たエリザベス・クレア・コックスは、私の家でホームステイをしています。

また5月15日には台北東海ロータリークラブが高山に来ますので、当日例会と、懇親会を行います。どうぞよろしくお願いします。

ロータリー財団委員長

小森 丈一

R財団委員会では、「世界で良い事をしよう」を目標に一人100\$以上の寄付をお願いします。その寄付を集める



方法として、毎月財団箱を回す、それと年6回の100万\$の食事を実施し、その差額を寄付する、方法を取って居ます。

実績は昨年4～6月分と上期7～12月の9か月の総額は426,645円です。(100万\$の食事分も含む)今年の1～3月分を上期の半分と仮定し、121,200円を加えると547,845円になります。塚本さんがPHFになられたので、8万円を加えると627,845円となり、円安傾向にありますので、1\$90円とすると、お一人約136.8\$となり目標をクリアできそうですが、引き続きのご協力をお願いいたします。

この7月から世界中で実施される、「未来の夢計画」の地区補助金の申請期限は今月中ですが、今回は見送ることに決まりましたので、申請はしませんが、

今年度の寄付金の1/4が、2年後に地区補助金として、使えますので使い先を計画して見ては如何でしょうか。地区補助金は地区の裁量に委ねられていますので、比較的使い易くなったと聞いています。重点分野以外でも使えますので、地元の施設等への支援を考えたなら、どうでしょうか。その為にもEREY率を上げて置く必要が有りますので、一層のご支援をお願い致します。

米山奨学委員長

伊藤 松寿

前期は11月30日に担当例会をもちました。前半は米山奨学会の成り立ちやその歴史、ならびに意義を説明しました。また、寄付金の種類も説明し



協力を要請しました。後半はジュニョンの結婚式の報告をスライドによって行いました。

<ニコニコボックス>

●高山RC 早川 宏治さん

貴クラブ趣味の会「輪声教室」の皆様本年もお世話になります。

●高山中央RC 仲谷 政美さん

今日メイキャップよろしくお願いします。

●折茂 謙一さん

高山RC 早川宏治様、高山中央RC 仲谷政美様、ようこそ。

●米澤 久二さん

- ・高山RCの早川さん、高山中央RCの仲谷さん、ようこそいちゃいました
- ・本日はクラブアッセンブリー2日目です。報告される委員長の皆様、よろしくお願いします。
- ・今日、家内の誕生日のお祝いに、とてもきれいなお花をいただきました。ありがとうございました。

●新田 敬義さん、平 義孝さん

銀風の仲谷さん、斐太バスの早川さん、ようこそ。

●垣内 秀文さん

1/11の例会、慌てて名札を付けたまま早退。先週は欠席。本日はその名札を忘れて来ました。阪下さんに促され、ザングの意味でニコニコへ。

●野戸 守さん

先週の例会、急遽病院へ入り欠席でしたが、良くなって今日は出席出来ました。やっぱり健康は気持ちが良いです。

●垂井 政機さん

仕事のこととはいえ、長く例会を欠席しておりすみません。本日のお昼は我が社の当番でございました。いつもご用命を頂きありがとうございます。実は最近各地で駅弁大会が催されており、当社の『飛驒牛しぐれ寿し』も出品しておりますが、CBCTVの「はなまるマーケット」に於いて大きく取り上げてくれました。そんな訳でぜひとも皆様にお召し上がりいただきたく、本日のお弁当は『飛驒牛しぐれ寿し』にさせていただきます。わさび醤油でローストビーフをご賞味下さい。